

短大生によるファッションビジネスプロジェクトマネジメント (2)

「NAGOYA KAWAii!!」ファッションショー参加報告

長谷川 えり子
愛知学泉短期大学

Fashion-Business Project Management by College Students (2)

Report of the 「NAGOYA KAWAii!!」 Fashion show

Eriko Hasegawa

キーワード：ファッションショー Fashion-show、ファッション教育 Education of Fashion、ゆるキャラ Yuru-Chara

1. はじめに

日本のかわいいファッションが世界的にも人気を集め、若者の間でブームを引き起こしている中、原宿発 KAWAII カルチャーが大ブームとなり、世界的に注目されている。名古屋に KAWAII カルチャーを広めるためのイベント「NAGOYA KAWAii!!」が2014年5月に名古屋市中村区にある Zepp NAGOYA で開催された。ファッションと音楽を融合した内容で計画されたステージの一部を地域の学生団体が運営協力するかたちで実施された。

学生企画ステージの内容として、地域のゆるキャラマスコットのファッションショーとマーチングバンドファッションショーが企画された。そこで、学生団体 Dush man から本学に協力依頼があり、「ファッションビジネス」を専攻する長谷川ゼミ生が担当することになった。

本報では、ファッションプロジェクトとして取り組んだ「NAGOYA KAWAii!!」ファッションイベントにおけるゆるキャラファッションショーでの作品発表、中学生マーチングバンドの衣装コーディネート提案の取り組みについて、その概要と教育効果を報告する。

2. 方法

(1) 対象

本学生活デザイン総合学科筆者担当の「総合ゼミナール」を履修した2年生18名とした。

(2) プロジェクトの概要

「NAGOYA KAWAii!!」ファッションショーにおける学生企画ステージのゆるキャラファッションショーと中学生マーチングバンドファッションショーの一部を担当した。



日時：2014年5月18日
場所：Zepp NAGOYA
主催：NAGOYA KAWAii
実行委員会

内容

1. オープニングステージ
2. 読者モデルステージ
3. ライブ
4. ブランドステージ
5. 協賛ステージ

写真 1. イベントポスター¹⁾

6. 学生企画ステージ

ゆるキャラファッションショー
マーチングバンドファッションショー

7. ファイナルステージ

以上の内容でファッションショーは構成され、6. 学生企画ステージを担当し、2014年4月より授業

内で活動を始めた。

3. 結果

(1) ゆるキャラファッションショーの取り組み

1) デザイン考案、選定

大学所在地の岡崎市のゆるキャラ「オカザえもん」のステージ衣裳を考案するにあたり、ゼミ生一人ひとりがデザインワークを行い、ゼミ内で発表した。学生たちが考案したデザイン画は、シックなイメージのフォーマルスタイルや地元岡崎の特産物である味噌樽をイメージしたものなど、様々な特徴が見られた。

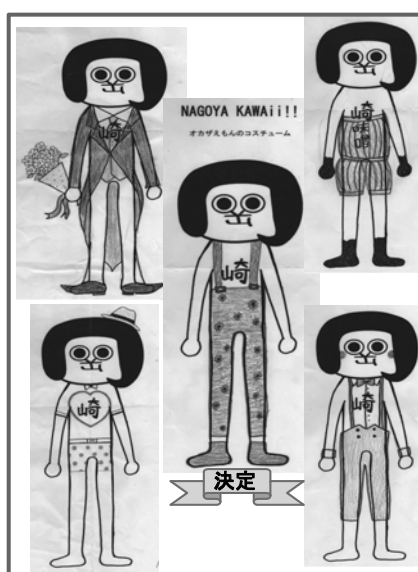


図 1. 提出されたデザイン画

提出されたデザイン画をもとにゼミ内で意見交換し、図 1 に示した 5 つのデザインに絞り込まれた。さらに検討を重ね、今季のトレンド要素が入ったサロペット風スタイルに決定した。全員で製作に関わる事を考え、サロペットに散りばめられたお花の部分をオカザえもんの顔を表現したワッペンに置き換え、デザイン調整を行った。

2) 衣裳製作準備

オカザえもんの衣裳を製作するにあたり、オカザえもん実物の体型計測を行った。写真 2 は、実際にオカザえもんに来ていただき、衣裳製作に必要な身体寸法を測定している様子である。

地元岡崎で有名なオカザえもんについては、ポスターなどで見たことがあったが、初めて間近で見る学生がほとんどであった。製作に必要な部位の計測

を行った結果、一般の男性とほぼ同程度の体格であった。ただし、股上寸法が深く、マスコット衣裳の特徴から股上が長いことがわかった。



写真 2. オカザえもんの体型計測の様子

3) 衣裳製作

衣裳製作については、ゼミ生全員で関わることを考えたため、まずは全員が思い思いのオカザえもんの顔を表現したワッペンを製作した。ワッペンは、サロペット全体に散りばめることにし、ショーでのステージ映えがするように考慮し、スパンコールやラインストーンをふんだんに使用したカラフルなワッペンを製作した。写真 3 に、製作過程のワッペンと製作している様子を示した。

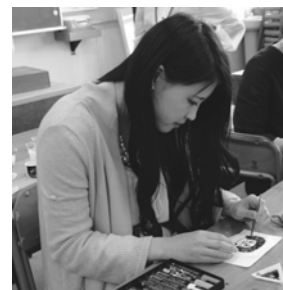


写真 3. ワッペン製作

次に衣裳製作担当の学生が中心となって、サロペット作りを行った。使用素材を検討した結果、今季のトレンドであるデニム生地に決定し、オカザえもんのマスコットカラーである白色とコントラスト配色になること、ワッペンが映えるようになることからネイビーブルーのラメ入りデニムを使用した。

サロペットのパターンは、マスコット衣裳の上かた着用するため、ゆとりを持たせて制作した。制作で使用したパターンは、資料(図 7) に示した。

写真 4 には実際にサロペットを製作している様子、写真 5 にはワッペンの配置を検討している様子を示した。



写真4. サロペットの製作



写真7. 宣伝用ホームページ掲載写真



写真5. ワッペン配置の検討



写真8. リハーサルの様子 (本番は撮影禁止)

4) 「NAGOYA KAWAii!!」参加広報活動

名古屋地区では、初めてのKAWAii イベント開催となるため、広く宣伝するために、今回の活動内容の取材が行われた。その際の記事を写真6に示した。

リハーサル終了後に衣裳の最終フィッティングを行い、デザインのポイントであるワッペン位置合わせを調整した。最終フィッティングの様子を写真9に示した。



写真6. NAGOYA KAWAii 広報記事²⁾ (東海愛知新聞)



写真9. 最終フィッティングの様子 (楽屋にて)

また、オカザえもんが今回参加協力した学生たちと一緒にKAWAii イベントの宣伝を行い、本学のホームページに掲載された。

5) ゆるキャラファッションショー当日

ファッションショー当日は、本番前にリハーサルが行われ、ショーでの立ち位置、フォーメーションなどの確認が行われた。オカザえもん以外にも東海地区のゆるキャラが出演した。ゆるキャラたちは、園児と一緒に登場し、KAWAii ステージを盛り上げた。

本番のステージでは、スポットライトが当たる中、学生たちが提案し制作したコスチューム衣裳がきらきらと光り輝き、KAWAii ステージにぴったりのオカザえもん姿で登場し、会場を沸かせた。普段はきもかわいいと言われているオカザえもんであるが、この日ばかりはキュートでかわいい印象のオカザえもんに変身した。学生たちが自分たちの感性を取り入れ、積極的に取り組んだことでトレンドを活かしポップな雰囲気表現することができた。

ショー終了後、オカザえもん本人から、衣裳を大変気に入り、楽しいファッションショー出演だったという感想をいただいた。

(2) マーチングバンド衣裳提案

学生企画ステージにおける中学生のマーチングバンド衣裳の提案とコーディネートについても併せて担当した。

1) 衣裳提案

中学生のマーチングバンドを KAWAii ステージで展開するために、普段の衣裳とは違って、ファッショントレンド要素が入った衣裳を着用することになった。対象が中学生であるため、中高生をターゲットとしているアパレルメーカーの(株)ハニーズの衣裳提供により実現した。

まず、はじめに楽器（フルート、サクソ、トランペット、クラリネット）ごとにグループを編成して、楽器のイメージを考えながら、衣裳選を検討した。事前に(株)ハニーズのホームページで今季の商品のラインアップを検索し、おおよそのコーディネート案をグループで相談して、服選びの準備を行った。

実際には、(株)ハニーズ岡崎ウイングタウン店を訪問して、店頭にある商品の中から衣裳を選び、コーディネートを行った。写真 10 に、店頭での衣裳選びの様子を示した。



写真 10. (株)ハニーズ店頭での衣裳選び

学生たちは、自分の服選びとは違って、中学生のかわいいイメージを表現できるように工夫した。また、他のグループとアイテムが重ならないように情報交換をしながら進めていった。

2) マーチングバンドファッションショー当日

ファッションショー当日、初めて中学生と顔合わせを行い、選んだ衣裳についての概要を説明した。

その後、楽器別に衣裳を一人ひとりに手渡し、スタイリングを担当した。衣裳を手渡された中学生は、かわいいと嬉しそうに衣裳を受け取っていた。写真 11 に全体説明の様子、写真 12 にスタイリングの様子、写真 13 に実際のスタイリングを示した。



写真 11. 中学生への説明の様子



写真 12. 中学生スタイリングの様子



写真 13. スタイリングの実際

ショー本番では、ゼミ生たちがコーディネートし、スタイリングしたスタイルでマーチングバンドを披露してくれた。マーチングバンドのステージの様子を写真 14 に示した。ステージで繰り広げられたマーチングバンドは、音楽とファッションが融合して、新しい感覚の楽しいマーチングバンドであった。

マーチングバンド衣裳提案は、学生にとっても初

初めての経験であったが、服選びの過程、スタイリングを行う中で、ファッションの楽しさを実感でき、中学生が喜んでくれることで大きな達成感を味わうことができたようであった。



写真 14. マーチングバンドファッションショー

(3) プロジェクト実施後のアンケート結果

ファッションショー実施後、教育効果をはかるためにアンケート調査を実施した。

1) ゆるキャラファッションショー

オカザえもの衣裳製作を通して、製作へ向けての取り組み、衣裳の出来映え、ゆるキャラマスコットへの興味について調査した。結果は、図 2~4 に示した。

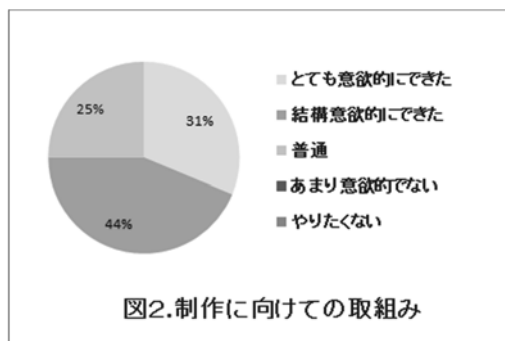


図2. 制作に向けての取り組み

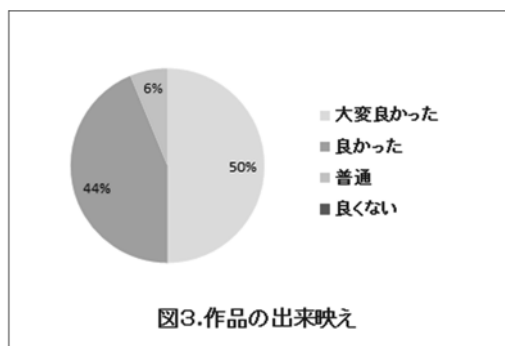


図3. 作品の出来映え

まず、製作に向けての取り組みでは、75%の学生が意欲的に取り組むことができたという回答しており、前向きに衣裳の提案と製作に励むことができたこと

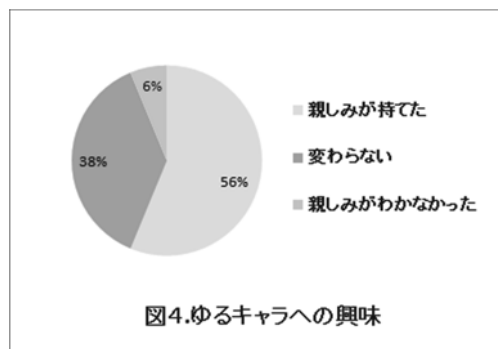


図4. ゆるキャラへの興味

がわかった。また、自分たちが企画して製作した衣裳についても、94%のゼミ生が良かったと回答しており、自分たちの納得のいく衣裳ができ、満足感を得たことがわかった。

今回の製作を通して、ゆるキャラに対する興味が半数以上のゼミ生が以前より親しみを持てたと回答しており、身近な存在として意識できたようであった。

2) マーチングバンドファッションショー

中学生マーチングバンドの衣裳コーディネートの取り組み、コーディネートの自己判断について調査した結果を図 5、6 に示した。

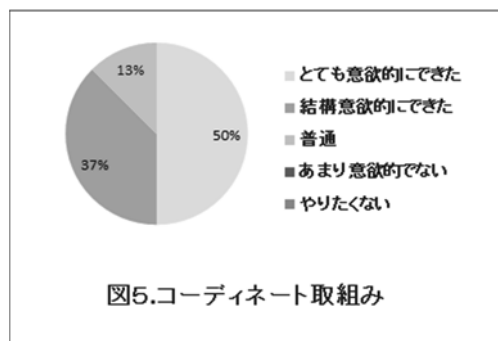


図5. コーディネート取り組み

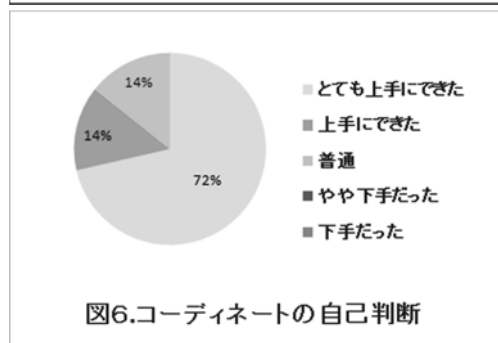


図6. コーディネートの自己判断

衣裳コーディネートへの取り組み意欲については、87%のゼミ生が意欲的に取り組むことができたという回答しており、学内での授業では体験できない取組に積極的な姿勢が現れた。また、コーディネートの自己判断結果についても、86%のゼミ生が上手に

きたと高い評価をしていることがわかった。実際の
 アパレル現場でファッションスタイルを選定し、ス
 タイリングするといった経験は、好き勝手にアイテ
 ムを選んで決められない難しさと KAWAii ファッ
 ションショーでいかに舞台映えさせることができ
 るかという不安要素があったにも関わらず、意欲的に取
 り組んだことで自己満足のいった提案ができたこと
 が得られた。

4. まとめ

「NAGOYA KAWAii!!!」ファッションイベント参加を
 通して、教育効果として以下の事が得られた。

1. ゆるキャラブームの中、実際に触れ合いコスチュ
 ーム提案することで、一層親しみを感じ、自発的な
 学習に取り組むことができた。また、一般のファッ
 ションショーにはない会場の盛り上がりから、ゆる
 キャラマスコットの宣伝効果を感じ取ることができ
 た。
2. かわいいファッションをオカザえもん衣裳やマー
 チングバンドコーディネートを通して発信すること
 ができ、さらにかわいいカルチャーへの関心度が増
 した。
3. チームでの取り組みにより、お互いに協力、刺激
 を持ち合うことで働きかけ合いがみられ、個々の成
 長が確認できた。
4. ファッションショー終了後に行ったアンケート結
 果では、積極的な取り組みの姿勢が得られ、これま
 での学習が応用され教育効果を感じ取ることができ
 た。

今回の取り組みについては、昨年12月に開催され
 た岡崎学生フォーラムで展示発表を行い、学生自ら
 自分たちの活動を発信した。また、本研究の一部を
 ファッションビジネス学会 2014 年全国大会にて研
 究発表を行った。

引用文献

- 1) イベントポスター：『NAGOYA KAWAii!!!』
- 2) 東海愛知新聞：『オカザえもんが着るサロペット作り』
 (2014.4.26.)

参考文献

- 1) 小野喜代司：『パターンメイキングの基礎』,文化出版
 局 (1997)
- 2) 日本プロジェクトマネジメント編：『プロジェクトの
 概念』,近代科学社 (2013)
- 3) 久保田亘他：『FASHOIN COLOR No89』,日本色研事業株
 式会社 (2014)
- 4) 伊藤英良：『MODE et MODE No365』,モードエモード社
 (2014)

資料

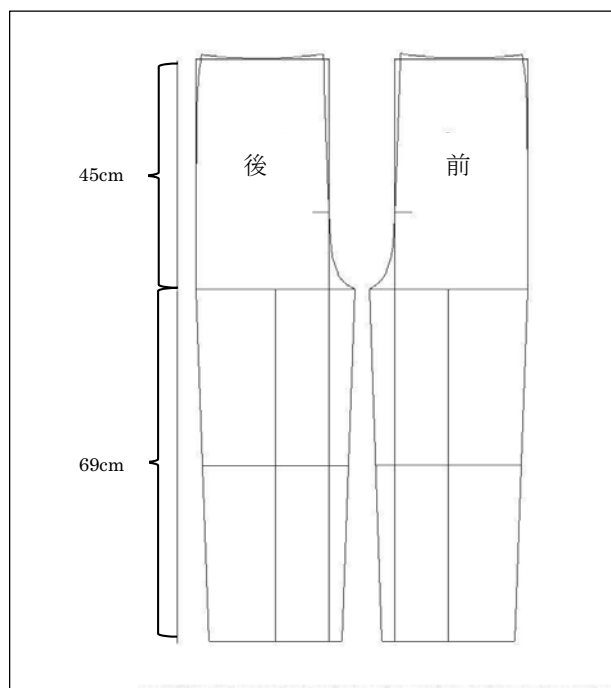


図 7. サロペットのパターン